

## 第 26 回

# ジュニアの出張体験談

こんにちは。今回は、監査法人での「出張」についてお話しします。

出張でクライアントの子会社や工場へ行きますが、業務内容は通常の監査業務と大きくは変わらず、ヒアリングや分析、実査などが中心です。ただし、出張先では限られた時間内で効率よく作業を進める必要があるため、事前準備が非常に重要です。出張前に必要な資料をクライアントに依頼し、内容を分析して質問項目を整理しておくこと、当日の対応がスムーズに進みます。こうした準備により、限られた時間でも子会社の事業や業務内容への理解を深めることができます。



出張中にはクライアントとの会食の機会も設けられることがあり、これは初対面の方と良好な関係を築くために重要な場となります。会食ではリラックスした雰囲気です。また、地元の名産品や季節の料理を味わうことも出張の楽しみの一つです。

金沢の出張で食べたガスエビの刺身は、新鮮で甘みがあり、とても美味しかったです。その土地ならではの味わいを堪能できました。



もう一つの楽しみは、仕事の合間に観光をすることです。私の場合、帰りの新幹線の時間を少し遅らせて、地元の観光名所に立ち寄ることがあります。夕方や夜の時間を利用して散策するのも良いですし、出張の最終日が金曜日であれば、帰宅を翌日に変更して観光を楽しむのも良いです。

さらに、出張先で名物のお土産を購入することも楽しみの一つです。先日も、オフィスで配るために出張先でちょっとしたお菓子を購入しました。

このように、出張は通常の監査業務に比べて時間的な制約があり、緊張感も伴いますが、普段メールでしかやりとりしないクライアントの現地担当者との信頼関係を築き、理解を深める貴重な機会です。

将来、皆さんが監査法人に入社された際には、出張する機会が多くあるでしょう。私たちのオフィスでは受験生向けに「出張体験会」というイベントも開催していますので、出張に不安がある方はぜひ参加してみてください。